



国内最大級の業務用“食”の総合見本市 「FABEX 2018」が開催！

第21回「FABEX2018」(The World Food And Beverage Great Expo 2018)

- 期日：4月11日(水)～4月13日(金)
- 場所：東京ビックサイト 東1～4ホール
- 主催：日本食糧新聞社
- 内容：外食・中食産業向けの食品・飲料の展示会や各種セミナー等

開催21年目を迎え、来場者は過去最多に！

外食・中食業者向けに国産農畜産物や加工品を売り込む展示商談会である「FABEX2018」が、東京ビックサイトで開催されました。第21回目となる今回は、3日間で過去最多となる78,000人以上の来場者が集まり、出店している企業との商談が行われました。また、会場では「東京2020大会における食材の調達基準」など、様々なセミナーが開催されていました。

本県からは8団体が出展し、本県産農産物などをPR！

本県からは8団体の出展があり、そのうち3団体から、本県産農産物や本県産素材を活用した農産加工品などの紹介がありました。

川場村は、環境王国※の加盟団体として出展を行い、同村のブランド米である「雪ほたか」や、村内企業が「雪ほたか」を原料に開発した「飲む糰」、「雪ほたか純米大吟醸 水芭蕉」などの展示と観光ガイドブック等の配布を行い、川場村の特徴や観光資源等のPRを行っていました。

また、桐生市の森産業(株)では、生椎茸や乾燥椎茸等の本県産きのこに関する商品が、太田市の三和食品(株)では、群馬ふるさと認証食品に登録されている太田市産やまといもを100%使用した「三日とろろ」が展示され、来場者に対して本県産素材を使用した商品のPRを行っていました。

この他にも、「平成29年度グッドデザインぐんま」で大賞を受賞したモバイル顕微鏡「mil-kin」(アクアシステム(株))の実演展示なども行われていました(写真3)。「mil-kin」は、単三電池で稼動し、1μm以上の菌類を見ることが出来る顕微鏡です。

※環境王国：地域の人々と消費者とが共に連携し、「官」・「民」が一緒になって環境保全に努め、未来に継ぐことを目的に活動する地域を指しており、現在は川場村を含めて全国で15市町村が認定。



川場村の展示ブース



三和食品(株)の「三日とろろ」



モバイル顕微鏡「mil-kin」